

「きず」「くすみ」「こわれ」を修理 お仏壇のリフォーム

大野屋「お仏壇のリフォーム」の特徴

● 仏壇専門スタッフがご自宅にお伺いします。

仏壇専門スタッフがご自宅までお伺いし、お仏壇の採寸や汚れ、破損箇所の確認、お見積りからお引き取り、納品まで担当します。

● 老舗仏壇メーカー「アルテマイスター」により丁寧にリフォーム

老舗仏壇メーカー「アルテマイスター」の経験豊富な職人の細やかな技術により部品一つ一つを丁寧に解体、洗浄、修理、塗装します。

● すべてのお仏壇を承ります。

伝統型仏壇や家具調仏壇など様式や製造元を問わず、全てのお仏壇をお預かりします。

こんな方におすすめ

- 自宅を新築。お仏壇もきれいにしたい。
- 長い間、見守ってくれたご先祖様に感謝したい。
- 目地切れや墓石のずれを直したい。
- きれいなお仏壇でご供養したい。...など



創業明治33年、宗教用具の製造から販売まで手がける製造本数日本一のお仏壇メーカー。

リフォームやクリーニングで お仏壇が美しく蘇ります！

ご先祖様から継承されてきたお仏壇、未永く後の代まで伝えるためにメンテナンスは不可欠ですが、修理や修復の周期は30年が目安といわれています。大野屋の「お仏壇のリフォーム」は、確かな技術で美しさを蘇らせます。

部分補修のみも承ります。



リフォームの流れ 基本コース(唐木仏壇)の場合



リフォーム例

【一般的な仏壇の場合】

【金仏壇の場合】



● お仏壇のリフォームやクリーニング、 買い換えの資料請求

お仏壇を解体しないクリーニングやお仏壇の買い換え、お焚き上げも承っております。お気軽にお問い合わせください。

大野屋 お仏壇

検索

大野屋テレホンセンター
365日年中無休(9:00~20:00)

通話料無料
携帯・PHS可

0120-02-8888



【お仏壇の掃除道具】

- 1 毛バタキ
- 2 ブラシや筆
(仏壇掃除専用のものが望ましい)
- 3 やわらかい布

掃除の前に

まずは仏具をすべて別の場所へ移動

お手入れをする前に仏具を移動させます。取り出しやすい手前から一つずつ丁寧に。

掃除の仕方

～木製の仏壇の場合～

1 全体に毛バタキをかける

仏壇全体のほこりを毛バタキで払います。仏壇の上部から始めましょう。内部はほこりを外に吹き出すようなイメージで行うと効果的です。

2 欄間はブラシで

彫り物のある欄間の細かい部分は毛バタキでは届きません。ブラシや筆を使いましょう。彫りの細かい部分が欠けないように丁寧に当てましょう。

3 やわらかい布で全体を乾拭き

やわらかい布でやさしく全体を拭きます。上から下へ、外側から内側への順に行います。強くすると細かいキズがつきますので注意してください。

4 お位牌はやわらかい布で

仏具の中でもお位牌は傷つきやすいので慎重に行います。やわらかい布やメガネ拭きなどで拭きましょう。水拭きは厳禁です！

5 ご本尊(仏像)は硬めのブラシで

ご本尊は彫りの細かい部分に届きやすい小さなブラシを使って払います。仏具は手垢に弱いので汗ばんだ手で触らないように気をつけましょう。



お仏壇の掃除の仕方

お盆だけでなく、こまめにお手入れを！

大切なお仏壇だからこそ、日ごろのお手入れは大切ですが、どのように行えば良いか戸惑っている方も多くいます。末永くきれいに使い続けるためのお手入れ方法を紹介します。毎日行うのが理想的ですが、難しい場合は1週間に1度を目安に行ってください。

教えてくれる人 メモリアルアートの大野屋



葬儀事業部
メモリアルギャラリー
国分寺
横田慧美

仏事コーディネーター。
仏壇仏具店に勤務して1年。展示品のメンテナンスに日々携わる。「できる範囲でも良いのでこまめにお掃除をお手入れは供養です」

汚れがひどい場合は
中性洗剤を数滴



汚れがひどい場合は中性洗剤を水で薄めて柔らかい布を浸して水拭きします。洗剤は色落ちの原因になりますので、バケツの水に数滴で十分です。最後は湿気を残さないよう必ず乾拭きしてください。

注意！ 金仏壇は
ぬれ拭き厳禁！



金仏壇は木に漆が塗ってあり、金箔が貼られています。漆部分は水拭き厳禁、金箔部分は触ってはいけません。ハタキで軽くほこりを拭うくらいが良いでしょう。